



連携いいわい

令和7年3月

第46号

岩手県立磐井病院

『磐井病院 市民講演会（一関市医介連研修会）』を開催しました。

去る11月30日(土)、一関保健センターを会場に一関市「医療と介護の連携連絡会(通称:医介連)」との共催で、一般市民や医療・介護関係者など幅広く参加いただける市民講演会を開催しました。今年には心臓など『循環器系』をテーマとしたところ、当初の定員100人を超える事前申込みがあり、関心の高さがうかがえました。

当日は3題の講演を行い、最初に庄原循環器内科医長から『**知っておきたい心筋梗塞のお話**』につ

いて、疾患の原因・治療・予防といった基本知識を分かりやすく説明しました。続いて“心不全療養指導士”の資格を持つ小野寺薬剤師からは『**よく耳にする“血液さらさらにする薬”～正しく内服するために～**』として、お薬の説明、正しい飲み方の重要性などを資料を交えてお話ししました。

最後に金森小児科医長から『**心肺蘇生法～あなたの行動がいのちを救う～**』として、救命措置対応について説明しましたが、時間の都合で実技部分をカットすることとなったため、来場の皆さまには大変申し訳なく思っております。次年度以降、時間配分等の見直しが必要と感じたところでした。



しかしながら、来場者アンケートでは大多数の方から「参考になった」「また参加したい」等、高い評価をいただいております。病院として「市民講演会」をこれからも毎年開催していく予定です。

テーマは、皆さまの「興味があるもの」「聞いてみたいもの」など、希望に沿った内容にしたいと考えていますので、ご意見・ご要望がありましたら下記までお寄せください。

【市民講演会などのご意見はこちらまで】

- 病院代表メールアドレス: EA1007@pref.iwate.jp
- 地域連携室FAX番号 : 0191-21-3990(直通)

<岩手県立磐井病院 理念>

地域と連動し、患者さん中心の、質の高い、安全な医療を提供します。

<岩手県立磐井病院 診療基本方針>

1. 患者さんの安全性を最優先とした医療を行います。
2. 患者さんの心理的安全性に配慮して医療を行います。
3. 十分な説明を行い、同意に沿った医療を提供します。
4. 多職種が協働し、最新で専門性の高い医療を目指します。
5. 地域の施設と連動し、患者さんの診療・生活をサポートします。
6. 最新技術を駆使して、利便性のよい医療を目指します。

Contents

- 磐井病院市民講演会開催について・・・1
- 認定看護師から
「お口の健康から介護予防」・・・2
- 面会禁止のお知らせ・・・3
- 連携ボックス利用状況・・・4

～認定看護師から～

お口の健康から介護予防へ



摂食嚥下障害看護認定看護師 及川 夏菜子

超高齢化が進む現代社会では介護予防ケアが重要視されており、フレイル予防も注目されています。『フレイル』とは加齢による身体的衰えだけでなく、それに伴って精神的にも意欲や活気を失ってしまい、心身にわたって虚弱になっている状態をいいます。

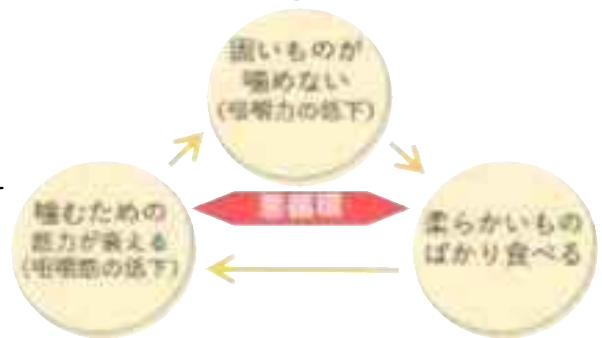
フレイルは健康な状態と要介護状態の中間、つまり要介護状態への移行の前段階とされています。可逆的(もとの状態に戻ることでできる状態)であることが特徴で、早期に介入することで健康な状態に近づくことも可能なため予防が重要となってきます。

フレイル予防には①栄養、②運動、③社会参加の3つの柱があります。今回は、栄養を摂るために必要な口腔機能に焦点を当てて紹介したいと思います。

『オーラルフレイル』とは?

口の些細なトラブルを放っておくと口腔機能(食べる・話す・表情を作るなど)が少しずつ衰えていきます。これらの衰えが積み重なり、虚弱になっていく状態をオーラルフレイルといいます。

予防するためには…?



1 口腔機能の維持・改善

食べる、話す、表情を作るために重要な役割を担っている唇や頬、舌などを動かすことで筋力を維持・改善することが重要です。

食べる前の準備運動として…

● 唾液腺マッサージ

唾液腺を優しく手のひらで揉んだり、指で押したりして唾液の分泌を促します



その他に肩や首周りの筋肉をほぐす運動や会話を促すことも効果的です。

2 口腔内の保清・保湿

虫歯や歯周病の原因となるプラークを取り除くには歯ブラシでのブラッシングが効果的です。うがいでだけではプラークを取り除くことができないため、必ずブラッシングを行ってください。

高齢の方は加齢による影響や内服薬の副作用により唾液分泌量が低下しているため口腔内の衛生状態が悪化しやすい状態です。

口腔内の状態に合わせて使用する物品を選択し、清潔を保ちましょう。

- ・ 歯間ブラシ
- ・ スポンジブラシ
- ・ 口腔ケアジェル、スプレー など



オーラルフレイルの始まりは口の乾燥、滑舌低下、食べこぼし、わずかなむせ、噛めない食品が増えるなど些細な症状のため、見逃しやすく気づきにくいという特徴があります。

些細な衰えを放置せず、いつまでも美味しく食べることでできる口腔機能を維持することでオーラルフレイル、そしてフレイルへ移行しないよう予防対策を行いましょ。

2 口腔ケア以外にも不安や疑問があればお問い合わせください。

面会禁止のお知らせ

インフルエンザ等の感染症の流行拡大に伴い、下記のとおり「入院患者さんへの面会を原則禁止（ご家族等を含む）」とする措置をとらせていただいております。

ただし、5階病棟に入院されている方や介護支援専門員等の業務上の面会についてはこの限りではありませんので、事前に患者支援センターまでご連絡ください。



面会禁止

R7年1月14日～入院患者さんへの面会を禁止させていただきます。ご理解とご協力をお願い致します。

面会を許可する特別な場合（原則、家族2人以内）

- 入退院時の付き添い
- 手術、検査の当日
- 病院から来院をお願いした場合

※ 5階病棟は、面会方法が異なりますので入院病棟にご確認ください。

- 特別な場合であっても体調のすぐれない方（発熱・かぜ症状等がある方）や1週間以内にコロナやインフルエンザ患者と接触した方は、原則面会をお断りしています。また18歳未満のお子様を同伴しての面会は出来ません。
- 面会が許可された方は、マスク（ウレタンや布マスク不可） を常時着用し、 こまめに手指消毒をしてください

入院患者さんへの荷物の受け渡しについて

入院患者さんへの荷物の受け渡しは、下記の通りです。

- 受け渡し場所：1階エレベーターホール

- 対応時間：

平日のお預かり時間 8:30 ~ 17:00

洗濯物などのお渡し時間 11:00 ~ 17:00

※ 土・日・祝の受け渡し時間 11:00 ~ 17:00

R7年1月14日 岩手県立磐井病院 病院長

令和5～6年度『連携ボックス』の利用状況

両磐地域の医療機関を中心に医療画像データの送受信を行っている『連携ボックス（一関医療連携ネットワークシステム）』について、直近約1年間の利用実績をご報告します。

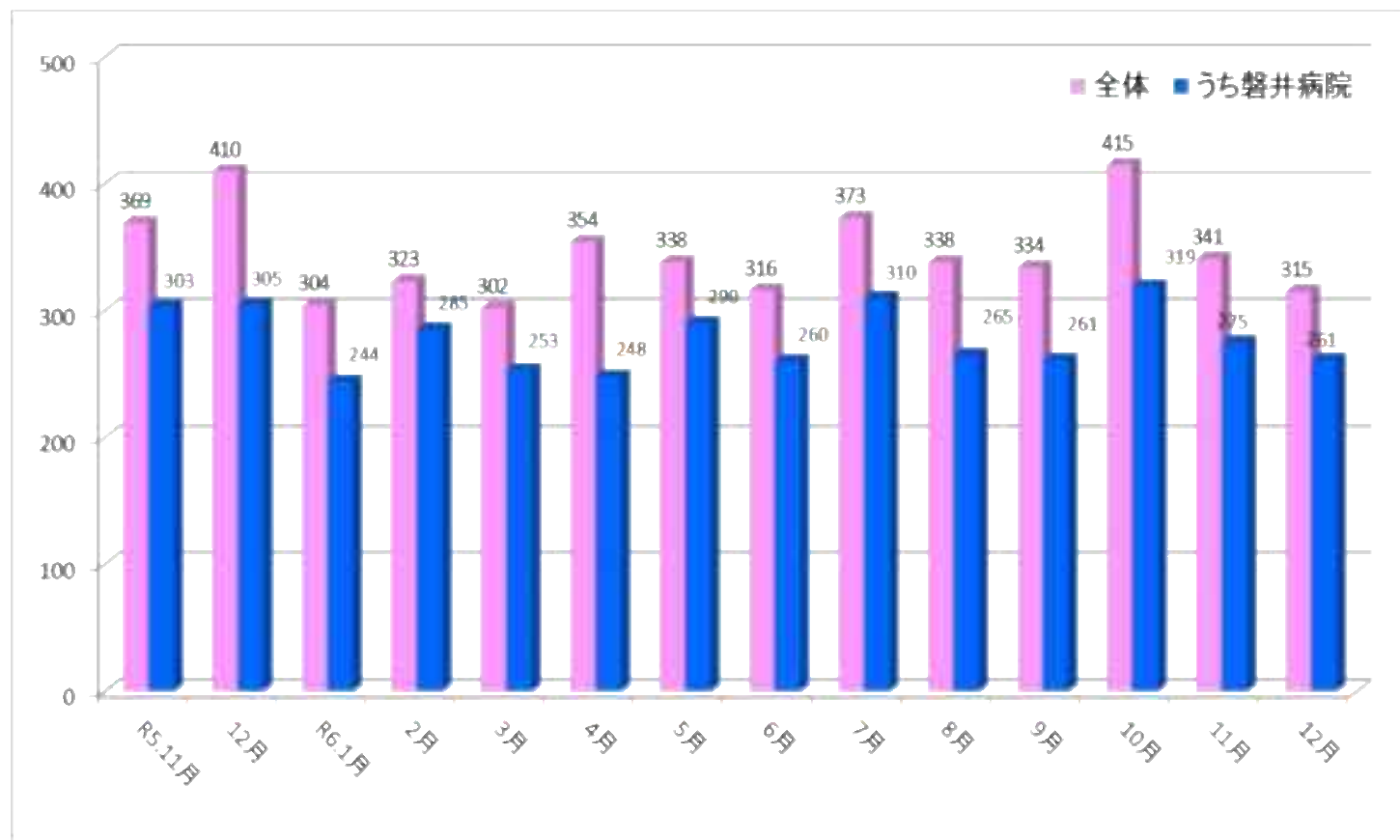
取扱い件数は毎月約300～400件程度の利用があり、うち約8割が磐井病院との連携で使用されている状況でした。全体数としては、システム導入以降増加が続いており、導入当初（H25）の年間約2,700件から直近の令和6年では4,000件を超えています。（グラフ参照）

また、現在の参加医療機関は26施設（9病院17診療所）で、個人医院の開院等での新規利用登録も可能ですので、ご希望の際は一関市医師会事務局または磐井病院の連携室までご連絡ください。

今後も、迅速な患者紹介・診療のため、当該システムを利用した診療情報提供にご協力いただきますようお願いいたします。

地域医療福祉連携室

	R5.11月	12月	R6.1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	(平均)
全体	369	410	304	323	302	354	338	316	373	338	334	415	341	315	4,832	345
うち磐井病院	303	305	244	285	253	248	290	260	310	265	261	319	275	261	3,879	277
	82.1%	74.4%	80.3%	88.2%	83.8%	70.1%	85.8%	82.3%	83.1%	78.4%	78.1%	76.9%	80.6%	82.9%	80.3%	80.3%



岩手県立磐井病院

【連絡先】

〒029-0192 岩手県一関市狐禅寺字大平17
 電話 (0191)-23-3452
 Fax (0191)-23-9691
 連携室直通 Fax (0191)-21-3990

【編集・発行】

岩手県立磐井病院 地域医療福祉連携室
 病院ホームページ: <http://www.iwai-hp.com>
 公式 Facebook: <http://www.facebook.com/iwaihp>